

愛称：トリプル維新ファンド（安定タイプ） / （成長タイプ）

追加型投信 / 内外 / 資産複合

信託期間：無期限

決算日：毎年6月23日（休業日の場合翌営業日）

基準日：2021年8月31日

安定タイプの運用状況

※過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

「基準価額・純資産の推移」

2021年8月31日現在

基準価額	11,096 円
純資産総額	97億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1か月間	+0.3 %
3か月間	+2.1 %
6か月間	+2.7 %
1年間	+3.9 %
3年間	+12.1 %
5年間	+7.9 %
年初来	+1.6 %
設定来	+11.0 %



※「基準価額（分配金再投資）」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（7ページ目の「ファンドの費用」をご覧ください）。  
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「基準価額（分配金再投資）」を用いた騰落率を表しています。  
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

「分配の推移」

(1万口当たり、税引前)

決算期（年/月）	分配金
第1期 (17/06)	0円
第2期 (18/06)	0円
第3期 (19/06)	0円
第4期 (20/06)	0円
第5期 (21/06)	0円
分配金合計額	設定来：0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

「主要な資産の状況」

※比率は、純資産に対するものです。

組入ファンド別構成		通貨別構成	
ファンド名	比率	通貨	比率
国内株式ファンド	3.2%	日本円	88.8%
先進国株式ファンド	3.2%	米ドル	9.4%
新興国株式ファンド	3.2%	ユーロ	1.0%
国内REITファンド	5.0%	豪ドル	0.3%
先進国REITファンド	4.9%	英ポンド	0.2%
先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド	52.9%	シンガポール・ドル	0.2%
新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド	26.5%	カナダ・ドル	0.1%
コールローン、その他	1.0%	香港ドル	0.1%
		ブラジル・リアル	0.0%
		その他	0.0%
合計	100.0%	合計	100.0%

※比率の合計が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。  
 ※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。  
 ※為替ヘッジ付外債は、日本円に分類しています。

「ファンドマネージャーのコメント」

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

【投資行動】

ほぼ基本配分比率通りの資産配分を維持しました。

【パフォーマンス】

8月は、世界的な感染状況の悪化で中旬まではやや慎重なムードでしたが、パウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長講演を無難に通過したことを受け月末にかけてリスク選好が強まり、新興国債券（為替ヘッジあり）ファンドや先進国株式ファンドなどが上昇し、ファンド基準価額は上昇となりました。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするためにワイエムアセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。8ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

設定・運用



ワイエムアセットマネジメント

商号等

ワイエムアセットマネジメント株式会社

加入協会

金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第44号  
 一般社団法人投資信託協会

# 安定タイプの運用状況

## 組入ファンドの騰落率

※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

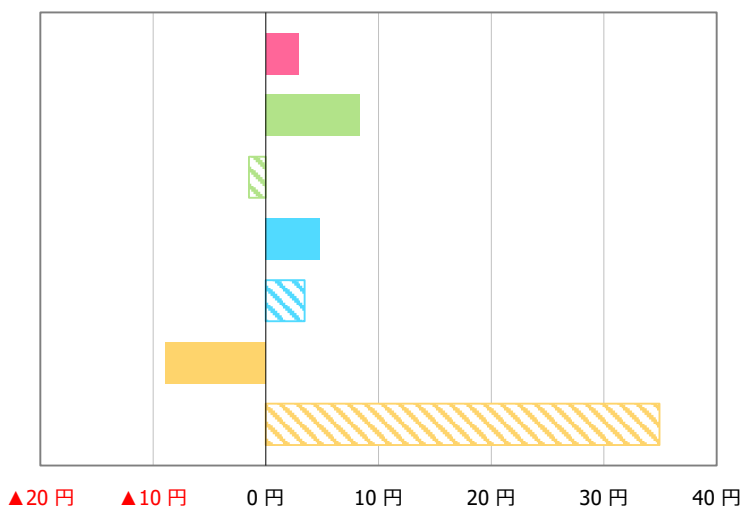
投資信託証券（ファンド名）	運用会社名	主な投資方針	騰落率			
			1か月間	3か月間	6か月間	設定来
国内株式ファンド	大和アセットマネジメント	国内の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。	+0.8%	-0.1%	+1.7%	+80.2%
先進国株式ファンド		日本を除く先進国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。	+2.4%	+5.6%	+18.1%	+135.5%
新興国株式ファンド		新興国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。	-0.5%	-4.3%	-2.1%	+86.3%
国内REITファンド		国内のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。	+0.9%	+6.2%	+11.5%	+52.6%
先進国REITファンド		日本を除く先進国のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。	+0.6%	+7.5%	+22.2%	+47.6%
先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド		先進国通貨建ての債券を主な投資対象とし、日本を除く先進国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。	-0.2%	+2.0%	+1.2%	+4.0%
新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド		新興国の国家機関が発行する米ドル建ての債券を主な投資対象とし、新興国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。	+1.2%	+2.4%	+2.2%	+8.4%

※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。

## 基準価額の月次変動要因分解

※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

2021年8月末の基準価額	11,096 円
2021年7月末の基準価額	11,063 円
変動額	33 円
内訳	合計
国内株式ファンド	3 円
先進国株式ファンド	8 円
新興国株式ファンド	▲1 円
国内REITファンド	5 円
先進国REITファンド	3 円
先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド	▲9 円
新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド	35 円
小計	44 円
分配金	0 円
信託報酬、その他	▲11 円

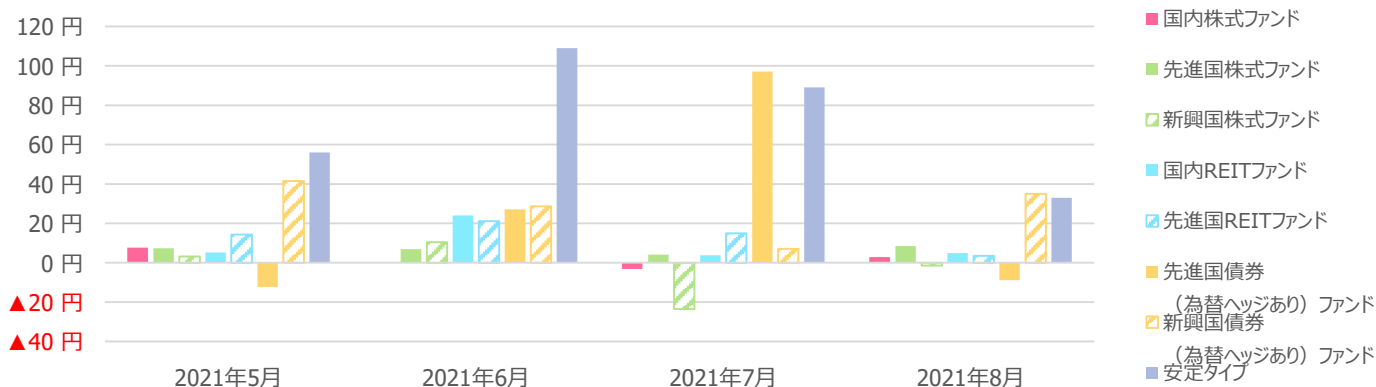


※「基準価額の月次変動要因分解」は、簡便法に基づく概算値です。

※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。

## 基準価額の月次変動要因

※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。



愛称：トリプル維新ファンド（安定タイプ） / （成長タイプ）

追加型投信 / 内外 / 資産複合

信託期間：無期限

決算日：毎年6月23日（休業日の場合翌営業日）

基準日：2021年8月31日

成長タイプの運用状況

※過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

「基準価額・純資産の推移」

2021年8月31日現在

基準価額	13,001 円
純資産総額	35億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1か月間	+0.5 %
3か月間	+2.5 %
6か月間	+5.5 %
1年間	+12.7 %
3年間	+19.0 %
5年間	+24.2 %
年初来	+8.5 %
設定来	+30.0 %



※「基準価額（分配金再投資）」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（7ページ目の「ファンドの費用」をご覧ください）。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「基準価額（分配金再投資）」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

「分配の推移」

(1万口当たり、税引前)

決算期 (年/月)	分配金
第1期 (17/06)	0円
第2期 (18/06)	0円
第3期 (19/06)	0円
第4期 (20/06)	0円
第5期 (21/06)	0円

分配金合計額 設定来：0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合があります。

「主要な資産の状況」

※比率は、純資産に対するものです。

組入ファンド別構成		通貨別構成	
ファンド名	比率	通貨	比率
国内株式ファンド	8.2%	日本円	71.5%
先進国株式ファンド	8.1%	米ドル	23.8%
新興国株式ファンド	8.1%	ユーロ	2.2%
国内REITファンド	12.5%	豪ドル	0.9%
先進国REITファンド	12.4%	英ポンド	0.6%
先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド	32.9%	シンガポール・ドル	0.4%
新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド	16.4%	カナダ・ドル	0.3%
コールローン、その他	1.3%	香港ドル	0.2%
		ブラジル・リアル	0.0%
		その他	0.0%
合計	100.0%	合計	100.0%

※比率の合計が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。

※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。

※為替ヘッジ付外債は、日本円に分類しています。

「ファンドマネージャーのコメント」

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

【投資行動】

ほぼ基本配分比率通りの資産配分を維持しました。

【パフォーマンス】

8月は、世界的な感染状況の悪化で中旬まではやや慎重なムードでしたが、パウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長講演を無難に通過したことを受け月末にかけてリスク選好が強まり、新興国債券（為替ヘッジあり）ファンドや先進国株式ファンドなどが上昇し、ファンド基準価額は上昇となりました。

# 成長タイプの運用状況

## 組入ファンドの騰落率

※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

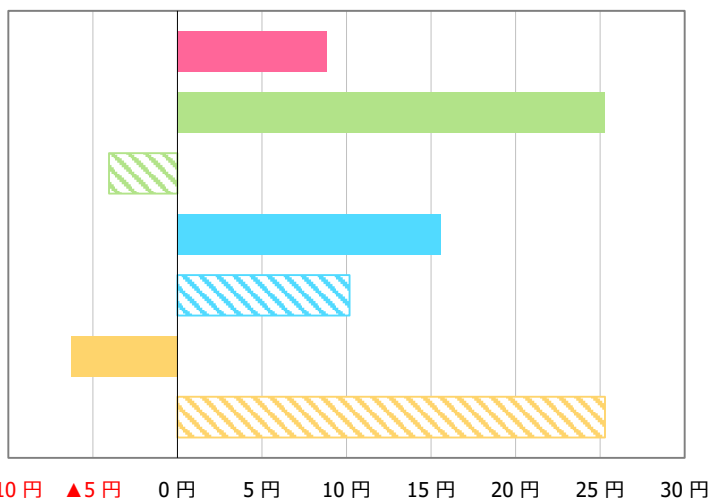
投資信託証券（ファンド名）	運用会社名	主な投資方針	騰落率			
			1か月間	3か月間	6か月間	設定来
国内株式ファンド	大和アセットマネジメント	国内の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。	+0.8%	-0.1%	+1.7%	+80.2%
先進国株式ファンド		日本を除く先進国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。	+2.4%	+5.6%	+18.1%	+135.5%
新興国株式ファンド		新興国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。	-0.5%	-4.3%	-2.1%	+86.3%
国内REITファンド		国内のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。	+0.9%	+6.2%	+11.5%	+52.6%
先進国REITファンド		日本を除く先進国のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。	+0.6%	+7.5%	+22.2%	+47.6%
先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド		先進国通貨建ての債券を主な投資対象とし、日本を除く先進国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。	-0.2%	+2.0%	+1.2%	+4.0%
新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド		新興国の国家機関が発行する米ドル建ての債券を主な投資対象とし、新興国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。	+1.2%	+2.4%	+2.2%	+8.4%

※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。

## 基準価額の月次変動要因分解

※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

2021年8月末の基準価額	13,001 円
2021年7月末の基準価額	12,941 円
変動額	60 円
内訳	合計
国内株式ファンド	9 円
先進国株式ファンド	25 円
新興国株式ファンド	▲4 円
国内REITファンド	16 円
先進国REITファンド	10 円
先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド	▲6 円
新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド	25 円
小計	75 円
分配金	0 円
信託報酬、その他	▲15 円

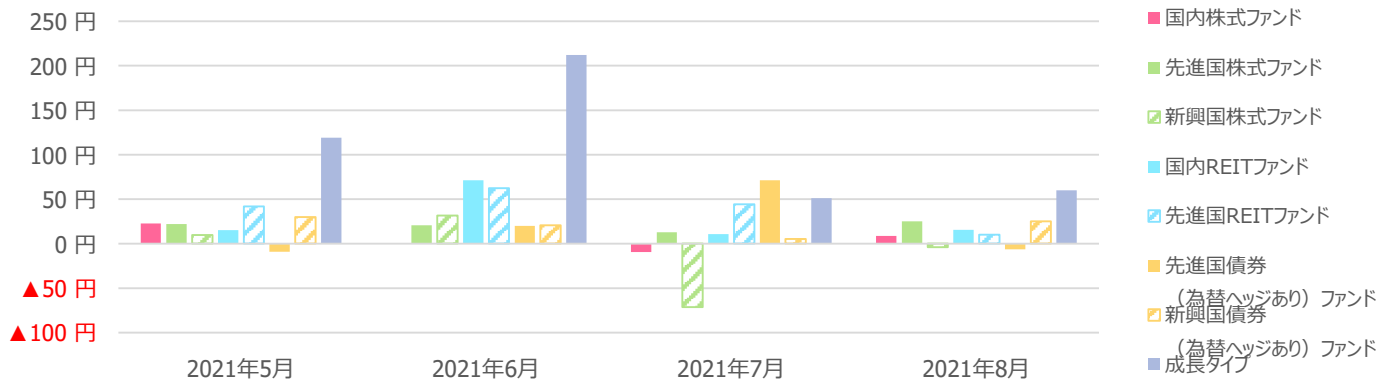


※「基準価額の月次変動要因分解」は、簡便法に基づく概算値です。

※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。

## 基準価額の月次変動要因

※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。





(国内株式)

国内株式市場は上昇しました。国内外における新型コロナウイルス変異株への懸念と堅調な企業業績などの綱引きで上旬は一進一退で推移しました。中旬は米国や中国の経済指標の相次ぐ下振れで下落したものの、米国で新型コロナウイルスワクチンが正式承認されたことや、下旬に行われたパウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長講演を無難に通過したことで株価は反発し、月間ではプラスとなりました。

(先進国株式)

欧米株式市場は上昇しました。世界的な新型コロナウイルス変異株への懸念や中国政府による一部業種への規制強化により不確実性が高まった一方、堅調な企業業績などが支えとなり株価は底堅く推移しました。中旬には米国や中国の経済指標の下振れが懸念された一方、下旬に行われたパウエルFRB議長講演を無難に通過したこともあり株価下落は一時的なものとなりました。

(新興国株式)

新興国株式市場はおおむね横ばいとなりました。上旬は、中国におけるゲーム業界などへの規制強化や各国の新型コロナウイルスの感染拡大が警戒されたものの、底堅く推移しました。中旬は、低調な経済指標などを受けて経済減速懸念が強まった中国を中心に軟調に推移しました。下旬は、中国の金融緩和への期待や米国株式の堅調な推移などを支援材料に持ち直しました。各国をみると、インドでは経済活動の規制緩和を背景に景気回復期待が高まり株価が上昇しました。

(国内リート)

国内リート市場は横ばいの動きとなりました。年初からの上昇トレンドが一休みです。国内リート市場では公募増資が増加しており、株式需給の悪化が調整の背景とみえています。一方で、指数が調整した局面では国内金融機関とみられる買いが入り、指数の底堅さが確認できる推移でした。用途別では物流施設が上昇した一方、商業施設では軟調な銘柄が目立ちました。

(先進国リート)

海外リート市場は、まちまちの展開となりました。米国では、長期金利の安定や景気回復期待の高まり、良好な業績見通しなどを受けて、上昇しました。欧州では、産業施設などを中心にイギリスが堅調に推移したものの、ドイツは下落しました。アジア・オセアニアでは、決算が好感されたオーストラリアが上昇した一方、中国当局の不動産規制が懸念された香港は軟調な展開となりました。

(先進国債券)

先進国債券市場は、おおむね下落（金利は上昇）しました。米国での良好な雇用統計の結果を受け、金融緩和の縮小観測が高まったことなどから、米国を中心に先進国債券市場の金利はおおむね上昇しました。

(新興国債券)

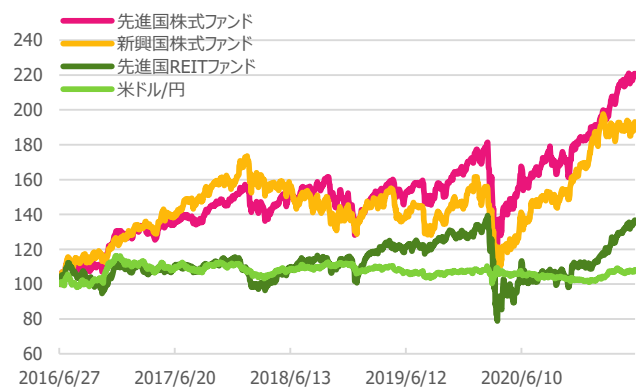
米ドル建て新興国債券に関しては、スプレッド（米国債との利回り格差）縮小の圧力が優勢となりました。市場のリスク選好度が強まったことなどが背景です。一方で、インフレ率が市場予想を上振れたことなどを背景にブラジルではスプレッドが拡大しました。

(為替)

為替市場では、対円ではおおむね小幅な下落となりました。金利が方向感なく推移する中で、変異株の影響により世界的に新型コロナウイルスの感染が再拡大しました。これにより、景気回復への不透明感が高まったことなどから、先進国通貨はおおむね対円で小幅な下落となりました。

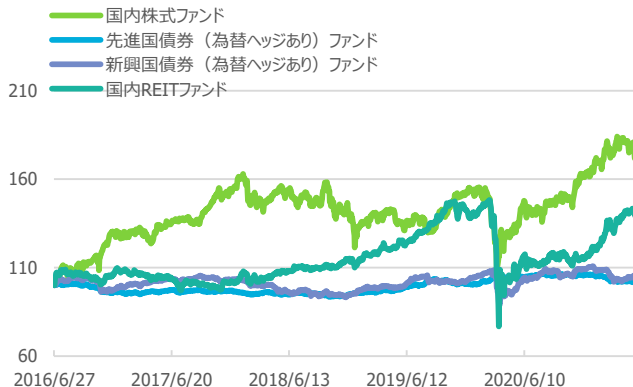
新興国通貨は、全体では対円でおおむね横ばいの動きとなりました。為替市場では、米国の早期利上げ観測が後退したことで市場のリスク選好的な姿勢が強まったことなどを背景に、多くの通貨が対円で上昇しました。一方で、インフレ率が市場予想を上振れたことなどを背景に、円に対して下落したブラジル・レアルなどの影響もあり、全体では変化が少なくなっています。

組入ファンド（為替ヘッジなし）と為替の価格の推移



※ファンド設定日を基準として指数化しています。

組入ファンド（為替ヘッジありおよび国内資産）の価格の推移

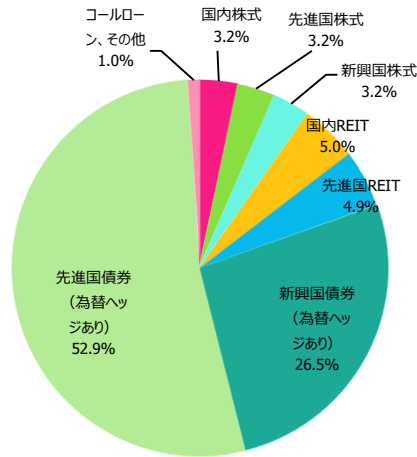


※ 8ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

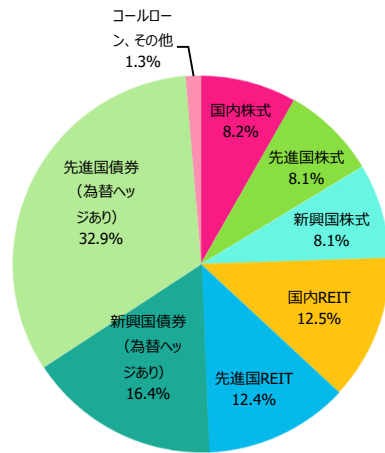
# 「各コースの資産・通貨別構成と基準価額の比較」

## 資産別組入ファンド比率（純資産比）

安定タイプ



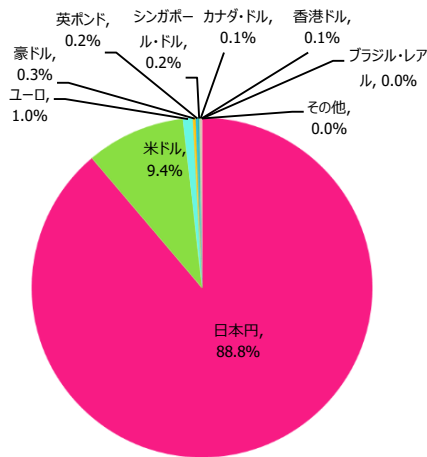
成長タイプ



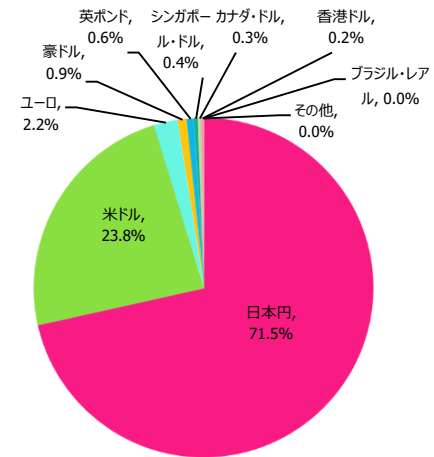
※比率の合計が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。

## 通貨別構成（純資産比）

安定タイプ



成長タイプ



※大和アセットマネジメントのデータを基にワイエムアセットマネジメントが計算しています。

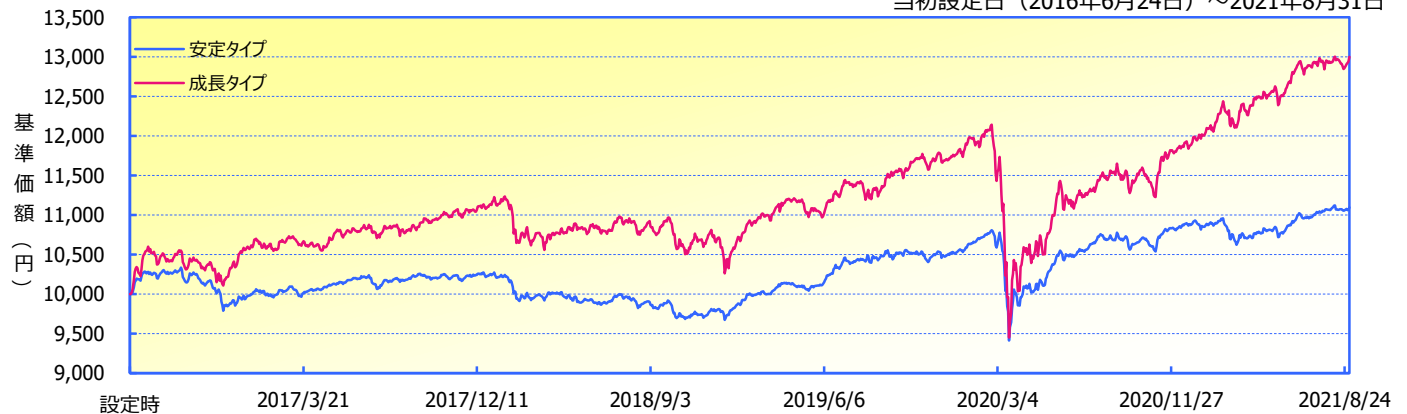
※比率の合計が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。

※為替ヘッジ付外債は、日本円に分類しています。

## 基準価額（分配金再投資）の比較

※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

当初設定日（2016年6月24日）～2021年8月31日



※「基準価額（分配金再投資）」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（7ページ目の「ファンドの費用」をご覧ください）。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

## 「ファンドの目的・特色」

### ファンドの目的

- 内外の債券、株式および不動産投資信託証券（リート）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

### ファンドの特色

1. 複数の投資信託証券への投資を通じて、主として内外の債券、株式および不動産投資信託証券（リート）に投資します。
2. 各資産への投資比率が異なる「安定タイプ」と「成長タイプ」の2つのタイプから選択できます。
3. 山口フィナンシャルグループの運用会社であるワイエムアセットマネジメント株式会社がファンド運用を行ないます。
4. 内外の債券、株式およびリートを実質的な投資対象とする複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

・各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。  
 YM アセット・バランスファンド（安定タイプ）：「安定タイプ」  
 YM アセット・バランスファンド（成長タイプ）：「成長タイプ」  
 ・各ファンドの総称を「YM アセット・バランスファンド」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

## 「投資リスク」

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動、リートの価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

## 「ファンドの費用」

お客さまが直接的に負担する費用		
購入時手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用 （信託報酬）	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して次に掲げる率	
	安定タイプ	成長タイプ
	年率 1.1275%（税込）	年率 1.2375%（税込）
	投資対象とする 投資信託証券	年率 0.209%（税込）～年率 0.330%（税込）
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.406%程度（税込）*	年率 1.510%程度（税込）*
その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。	

\* 実際の組入状況等により変動します。

※手数料等の合計金額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

## 「当資料のお取り扱いにおけるご注意」

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするためにワイエムアセットマネジメント株式会社により作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡する「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

- ▶ ワイエムアセットマネジメント株式会社  
083-223-7124（営業日の9:00～17:00）  
当社ホームページ
- ▶ <http://www.ymam.co.jp/>

## 「販売会社」

販売会社（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第117号	○	○	
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第12号	○	○	
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第6号	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○		

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。